



が見つけた遠隔授業での学び

本企画は、遠隔授業を受けている福大生の皆さんにインタビューし、遠隔授業での学びや大学生活について紹介するものです。学生の皆さんには、同じ学友としての仲間が苦労しながらも頑張っている姿をおして、少しでもヒントを得てもらえればと思っています。七隈キャンパスに集えない状況ですが、福大生たちが共に学んでいる様子をお伝えしていきます。



商学部第二部
4年次生
濱田 誠真 さん

Case2: 教わるのではなく、自ら学んでいく

今回のインタビューに答えてくれたのは、商学部第二部4年次生の濱田誠真さんです。濱田さんは、昼間は福岡大学のワークスタディと呼ばれるアルバイトに励みながら、夜間（6、7限）に授業を受けています。部活動もあわせるとまさに三足の草鞋を履く濱田さん。遠隔授業では、先生が教えてくれるのを待つ姿勢ではなく、課題のスケジュール管理を含めて、“自分で学んでいく姿勢”が求められることを熱く語ってくれました。

夜間の遠隔授業を受けています！

前期の授業は、夜間に10科目を受講しています。遠隔授業のタイプとしては、リアルタイム配信型3科目、オンデマンド型3科目、教材配信型4科目です。リアルタイム配信型の授業では、チャットで受講生の進捗を確認しながら授業を進めてくださる先生や、レジュメ重視で進む先生の授業もあります。先生によって進め方は全然違いますね。

遠隔授業の良さとしては、部屋に一人で受講するので、**対面の授業よりも、関心を持ったらすごく前のめりに没頭して聞いていることがあります。**例えば、保険論の授業なんかで、先生が社会の様々な場面で適用される保険を説明してくださる時とかです。自分の場合は社会人になる上で頭に入れておいたほうが良いなと感じた時に、自然と前のめりになっていますね。対面授業よりも積極的になることがあるものなんだと自分でも驚いています。

濱田さんの前期の時間割

		月	火	水	木	金
6限	科目名	ミクロの生物化学	交通システム概論	法学A	国際マーケティング論	地誌学
	授業形態	リアルタイム配信型	オンデマンド型	教材配信型	リアルタイム配信型	教材配信型
7限	科目名	統計入門	西洋教育史	保険論	宗教学A	日本国憲法
	授業形態	オンデマンド型	オンデマンド型	リアルタイム配信型	教材配信型	教材配信型

商学部第二部の野球部に所属

授業以外の活動では、商学部第二部の野球部に所属しています。野球部では、野球連盟と野球部とのやり取りを担当する主務という役職をしていました。球場を予約したり、練習試合の相手とアポイントをとったり、大会に関わる費用の扱いなどのサポートをしていました。5月に引退のはずが、コロナの影響で引退行事が流れてしまいました。それに新入生を勧誘



昨年、秋季リーグ戦でショートを守る濱田さん

することもできなかったことが本当に心残りです。

野球は小学校1年生からずっとやってきて、ポジションはショートやサードといった内野です。高知県出身の阪神ファンで、高校の先輩に藤川球児投手がいるんですけど、メジャーから帰ってきたときに、プレーする姿を間近に見れて、身体の大きさに驚きました。

ワークスタディで見つけた大学とのつながり

1年生の時から「学生支援ワークスタディ」（働きながら学びたい学生を支援する本学商学部第二部の制度）を活用し、福大の大学事務のアルバイトをしています。僕が働いている部署は、教室のカギの貸出、学内便の配達、書類のコピーや丁合の作業など、職員の方のお手伝いをさせて頂いています。大学運営のサポートに関われるので貴重な体験だと思います。職員の方も「ワークスタディの学生」としてよく声を掛けてくださいますし、就活で悩んだ時にも親身に相談に乗ってくださいました。社会人の方たちと一緒に働けることが大きなやりがいだと感じています。そんな機会に恵まれてとても有難く感じています。

遠隔授業はスケジュール管理の練習になる！

特にオンデマンド型の遠隔授業では、動画を見る期限が設けられている場合や課題の提出日が厳密な場合が多いですね。対面授業なら教室に足を運ぶので当然のように講義を聴けますが、動画は自分で見ようと決心しないと見ないのでなかなか大変です。自分の意志がすごく大事ななと思います。これから社会人になるためにも、**課題の予定などを的確にメモする事やスケジュール管理を身に付けていかないといけないと思います。**スケジュール管理の練習にもなって、これも遠隔授業のおかげですね。でもまだまだ自分はできていないんですけどね（苦笑）

一人で受講…でも心配しなくて大丈夫！

もしかしたらゼミを受講していないからかもしれないで

すが、自分は遠隔での一人受講の状況でも特に問題は感じていません。対面授業を受けていた頃からその傾向はあって、僕自身は、**一人で受けるほうが集中できると思います**。1~2年生の時に同じ部活の人や友達と一緒に受けていたこともあるんですけど、**なんだかんだ最後は他の人の力をかりることなく自分で勉強することが必要になります**。ただ、これまでは疑問に思ったことがあれば授業後にすぐ質問すれば良かったんですが、遠隔になってからは、先生が「質問があればメールで聞いてください」と配慮してくださっても、なかなか送れない自分があります。メールをどう書けばいいかの知識が少ないことも影響していて、先生に失礼があってははいけなないので不安が多いですね。

Check! メールを送る際のマナー

プライベートのメールやLINEと違って、ビジネスメールにはマナーがあります。先生への質問や問い合わせをする際には、しっかりマナーを押さえたメールを送るよう心がけましょう。メールの構成は、**①件名（内容を簡潔に表したもの）②宛名（〇〇先生や△△様）、③最初の挨拶と自分を名乗る、④本文（できるだけ短くまとめて書く）、⑤結びの挨拶、⑥署名、**という流れが一般的です。相手が読みやすいように適度に改行を入れることもポイントです。なお、メールは、一往復半のやり取りが基本です。返信をもらったら、返信に対してお礼のメールを送るようにしましょう。

例：先生に質問する場合

①**件名** 件名：「心理学」の課題提出期限について（SS00001 福大華子）

②**宛名** 〇〇先生

③**名乗り** 「心理学」を受講しています、
福岡大学◇◇学部△△学科（SS00001）の福大華子です。

④**本文** 第5回の課題に関して質問があり、ご連絡させていただきました。
本課題の提出期限について、Moodleを確認しましたがわかりませんでした。
教えて頂けませんでしょうか。

⑤**結び** 何卒宜しくお願い致します。

⑥**署名** -----
福岡大学 ◇◇学部 △△学科 2年
福大 華子 (Hanako FUKUDAI)
E-mail: hanako@cis.fukuoka-u.ac.jp

教わるではなく、自ら学んでいく！

遠隔授業で課題の大切さに気づかされました。授業の内容だけでなく、広く知識が問われる課題が出されることがあるので、配布されるレジュメ以外に、自分でも調べて課題に取り組んでいます。その過程の中で授業内容の理解が深まっているのを実感しています。これは対面授業の時とはそれほど感じなかったことかもしれません。



遠隔授業を受けて感じたことですが、**遠隔授業は、先生が教えてくれるというよりも、出された資料や課題から、自分で新しく勉強する形式になっている**と思います。個人的には対面授業のほうが先生に教わっている感じがありました。それに、動画のように後で見返せないで、

対面のほうが集中して授業のモードに入りやすいと思います。野球だとバッターボックスに入る感覚でしょうか（笑）。でも、社会人になるためにも、自分で新しく勉強していく、強い意志を持ってこれからも授業を受けていきたいです。

福大生へのエール

課題は空き時間に少しずつでも取り組みましょう！

遠隔授業では、自分で前向きにやっていくことが求められると思います。先生が教えてくれるという受け身の姿勢は見直さないで…。特に、第二部の学生は、昼に働いている方やアルバイトをしている方が多いので、夜間に授業があつて、課題に取り組むのに苦労すると思います。空いた時間を上手く使って、少しずつでも課題にコツコツ取り組んでいったほうが、結局は一番効率がいいと思います。自分もなかなか上手く出来ていませんが、スケジュール管理をしながら自分の意思を強く持って取り組んでいきたいです。



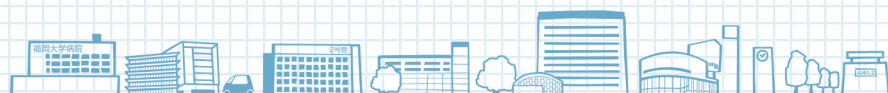
注：Webでインタビューさせて頂いた内容を元に再構成しています。
文責は、インタビュー担当者にあります。



目指せ！遠隔授業マスター☆

今回のキーワード：ティーチングからラーニングへ

昨今、大学の授業は「何を教えるか」から「どのように学んでもらうか」ということに少しずつ焦点が移ってきています。遠隔授業下において、みなさんもそれを強く実感しているのではないのでしょうか？「先生がこう言っていた」ではなく「自分がこう学んだ」と、自分自身を主語にした言葉で各遠隔授業での学びを表現できますか？もしできれば、みなさんが前のめりに学んでいる証拠です！



編集・発行：福岡大学教育開発支援機構（A棟地下1階）

内線：2852・2853 E-mail：kyokiko@adm.fukuoka-u.ac.jp

HP：http://www.idshe.fukuoka-u.ac.jp/ Twitter：@fu_idshe

令和2年7月27日発行